

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和7年11月28日

独立行政法人水資源機構
筑後川下流総合管理所長 北村 達也
(公印省略)

1. 目 的

この歩掛参考見積の募集は、福岡導水施設地震対策事業で予定している積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、筑後川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者等を記載して提出してください。
なお、参考見積書の様式は問いません。（別紙1を参考にしてください）
- (2) 提出期間：令和7年11月28日（金）から令和7年12月12日（金）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (3) 提出先
独立行政法人水資源機構
筑後川下流総合管理所長 北村 達也 宛
【担当】筑後川下流総合管理所 工務課 山崎（やまざき）
〒830-0071 福岡県久留米市安武町武島1063-2
TEL 0942-26-4551 FAX 0942-26-1525
E-mail yugo_yamazaki@water.go.jp
- (4) 提出方法
書面は持参、郵送、ファクシミリ又はメール（いずれも社印があること）により提出するものとします。社印を省略する場合は、本件責任者、担当者及び連絡先を明記願います。

4. 参考見積内容

- (1) 作業項目及び作業内容

別紙 2（見積仕様書）に示す地質調査に必要な員数等について、見積徴取します。

別紙 1「参考見積書作成例」を参考に見積書を作成してください。

（2）業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

- ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（調査等編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。
- ② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接業務費のうち、上記（1）「作業項目及び作業内容」を実施する為に必要な技術者の員数等を徴取します。

（3）技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和 7 年度設計業務委託等技術者単価」における「設計業務等における技術者の職種区分定義」によるものとします。

（4）見積書の有効期限

見積書の有効期限は、令和 8 年 3 月 31 日までとします。

ただし、物価変動により上記の有効期限を適用出来ない場合は、見積書に有効期限を記載願います。

（5）歩掛参考見積件名

見積の件名は、「地質調査参考見積」としてください。

5. 依頼書に対する質問

この依頼書に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- （1）提出期間： 令和 7 年 11 月 28 日（金）から令和 7 年 12 月 4 日（木）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日、祝日を除く毎日、午前 9 時から午後 5 時まで。
- （2）提出場所： 3. （3）に同じ。
- （3）提出方法： 3. （4）に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- （1）閲覧期間： 令和 7 年 12 月 8 日（月）から令和 7 年 12 月 12 日（金）まで
- （2）閲覧方法： ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

9. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務の積算の目的以外には使用いたしません。

（以上）

見積仕様書

第 1 節 業務内容

1-1 機械ボーリング

1. ボーリング調査地点及び各調査地点の掘進長は、別添調査位置図及び次に掲げる表-1 に示すとおりである。

表-1 ボーリング調査 掘進長一覧

地点名称	孔径	掘進長	粘性土 シルト	砂 砂質土	礫混 土砂	軟岩	中硬 岩	硬岩	破碎帯
No. 1	φ 86	248. 0m	0. 2m	5. 2m	0. 8m	68. 0m	77. 6m	93. 9m	2. 3m

2. 事前にボーリング調査地点の位置出し測量を行い、削孔前に測量成果を提出するものとする。なお、測量に用いる基準点または水準点は、別途指示するものとする。
3. ボーリング孔径は、表-1 により削孔するものとし、削孔に必要な用水については確保するものとする。また、削孔方向は鉛直下方とし、削孔深度は表-1 のとおりとする。
4. 事前にボーリング調査地点における埋設物や架空線等の有無の確認を行うものとする。
5. 削孔に当たって、原則として全コア採取するものとし、コアの破損を極力無くすよう努めるものとする。
6. 削孔に当たって、コアの流出を防止するため、供給された掘削水が直接コアに当たらない特殊ビット及び電磁流量計を用いた給水管理で給水量や給圧を最小限に抑えるよう努めるものとする。
7. ボーリングコアは、コア写真を撮影後、土質標本箱に整理し、指示する場所に納めるものとする。
8. 削孔中において地下水位を毎朝作業開始前に測定し、水位測定記録及びボーリング柱状図の記録にまとめるものとする。

1-2 岩石試験

(1) 石英含有量試験

試験方法は、XRD 分析により石英含有率を求めるものとする。

第 3 節 見積項目

以下の項目に関する歩掛参考見積及び見積単価とします。

(1) 機械ボーリング

市場単価に係る岩盤ボーリング φ 86mm せん孔深度 120m 超え硬岩・破碎帯の補正係数

(2) 石英含有量試験

ボーリングコア試料を用いた石英含有量試験 (XRD 分析) の単価

—以上—